

神戸埠頭梱包団地協同組合

神戸港の強みの一つが「梱包荷役」といわれている。大型機械や重量物などさまざまな貨物を安全と品質を保持しながら梱包し、直背後の岸壁から船積みする。神戸港でこうした貨物の荷受けが梱包、保管、出荷まで

1971年9月、神戸市内の梱包事業者が協業

組合員8社の出資と公費防止事業団からの融資で防壁工事から、77年11月に第1期、翌78年3月に第2期施設が完成した。ただし、船出は思惑とは違った。

通常、梱包された輸出貨物は、梱包工場から船積み場まで横持ちが必要となる。それが巨大貨物になると陸上輸送がさらに厄介だ。この横持ちコスト削減のため、協同組合はバージなどが直接接岸できる岸壁を直背後に擁する用地を確保した。梱包した貨物の陸送費用を抑制し、船積みできる効果に期待したわけだ。

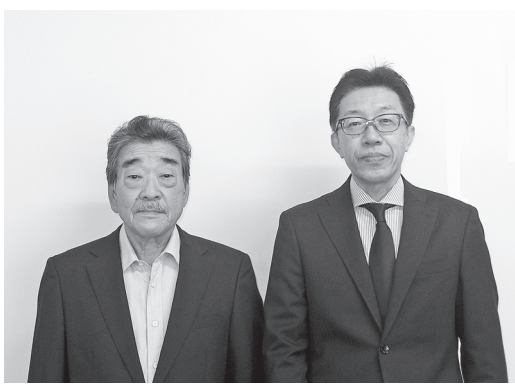
ところが「当初、この仕組みが荷主さんに認識されず、乙仲さん（海貨事業者）にも理解されなかった。土地代の支払いが負担となり、組合の役員からは撤退の話も出た。しかし、営業関係の部署から『残してほしい』という声が上ががり、皆で何とか頑張ってきた」と、前理事長の井藤知樹氏（関西荷造工業会長）は振り返る。

そして、輸出貨物の荷受けから梱包、保管、出荷までを一貫して効率よく行える施設の効果も徐々に浸透。最近では年間平均で10万トを超える貨物を取り扱い、2019年度には15万トを超え過去最高を記録した。しかし、昨年は新型コロナウイルスの影響で世界経済が停滞したこともあり、前年を約2割下回っている。

施設は敷地約4万平方メートルをA、B両地区に区分。A地区には5棟の工場棟と共同事務管理棟（事務棟）、木材ヤード、B地区には2棟の保税倉庫と保税蔵置場、ジャバラテナント倉庫がある。

組合員は現在、義勇組合からは撤退の話も出た。しかし、営業関係の部署から『残してほしい』という声が上ががり、皆で何とか頑張ってきた」と、前理事長の井藤知樹氏（関西荷造工業会長）は振り返る。

神戸港と共に半世紀



●重清理事長（右）と前理事長の井藤氏（左）が重積物荷役に威力を発揮する200トンクレーン

をワンストップで効率よく行う施設を管理運営しているのが神戸埠頭梱包団地協同組合だ。

今年で設立50周年を迎え、経験を積み重ねてきた組合員6社による、熟練した梱包の技術・ノウハウで神戸港と共に発展

組合員8社の出資と公費防止事業団からの融資で防壁工事から、77年11月に第1期、翌78年3月に第2期施設が完成した。ただし、船出は思惑とは違った。

通常、梱包された輸出貨物は、梱包工場から船積み場まで横持ちが必要となる。それが巨大貨物になると陸上輸送がさらに厄介だ。この横持ちコスト削減のため、協同組合はバージなどが直接接岸できる岸壁を直背後に擁する用地を確保した。梱包した貨物の陸送費用を抑制し、船積みできる効果に期待したわけだ。

ところが「当初、この仕組みが荷主さんに認識されず、乙仲さん（海貨事業者）にも理解されなかった。土地代の支払いが負担となり、組合の役員からは撤退の話も出た。しかし、営業関係の部署から『残してほしい』という声が上ががり、皆で何とか頑張ってきた」と、前理事長の井藤知樹氏（関西荷造工業会長）は振り返る。

そして、輸出貨物の荷受けから梱包、保管、出荷までを一貫して効率よく行える施設の効果も徐々に浸透。最近では年間平均で10万トを超える貨物を取り扱い、2019年度には15万トを超え過去最高を記録した。しかし、昨年は新型コロナウイルスの影響で世界経済が停滞したこともあり、前年を約2割下回っている。

施設は敷地約4万平方メートルをA、B両地区に区分。A地区には5棟の工場棟と共同事務管理棟（事務棟）、木材ヤード、B地区には2棟の保税倉庫と保税蔵置場、ジャバラテナント倉庫がある。

組合員は現在、義勇組合からは撤退の話も出た。しかし、営業関係の部署から『残してほしい』という声が上ががり、皆で何とか頑張ってきた」と、前理事長の井藤知樹氏（関西荷造工業会長）は振り返る。

「匠かんざい」は、関西の海事関連産業のサービシス、製品・技術などを紹介する企画です。掲載希望の企業は情報をメールでお寄せください。メールアドレスは以下の通りです（kansai@ind.co.jp）。（第2・4金曜日掲載）

組合概要

設立=1971（昭和46）年9月28日▷代表理事=重清憲司（義勇梱包社長）▷所在地=神戸市中央区港島2-9-1▽電話番号=078・302・5430▽出資金=1億2250万円▷事業内容=荷受け、梱包、保管・出荷など▽主な取扱貨物=鉄道車両、船舶用エンジン、プレス機、大型工作機、大型ボイラー、大型変圧器など